

出羽地区
まちづくり会議提言書

令和6年(2024年)11月12日

出羽地区まちづくり会議

～提言にあたって～

第5次総合振興計画後期基本計画策定にあたり、出羽地区では、委員33人で構成する地区まちづくり会議を開催し、慎重に議論を重ねてまいりました。

地区まちづくり会議において、地区の現況や課題を整理し、今後の地区のまちづくりに関する意見交換を行い、ここに提言としてまとめております。

住民にとって、この地区に住んでよかった、また越谷市に住んでよかったと思える、よりよいまちとなるよう、私たちの思いを込めたこの提言書を尊重いただき、今後、計画の策定を進めていただきますようお願い申し上げます。

令和6年11月12日

出羽地区まちづくり会議

会長 松 苗 眞 吉

1 第5次越谷市総合振興計画における地区の将来像とまちづくりの目標

(1) 出羽地区の将来像

自然と文化の調和のとれた、心豊かなまちづくり

(2) 現況と課題

【現況】

出羽地区には、獅子舞や和太鼓などの伝統的な行事・文化、くわいや太郎兵衛もちなどの地元の農産物・特産品があるなど、地区独自の良さが残っています。また、出羽公園を中心に地区センター・公民館などの施設が集約されており、チューリップフェスタに象徴されるように、コミュニティ活動が活発に行われています。

地区内は、出羽堀・新川・元荒川・綾瀬川といった水辺環境に恵まれ、特に出羽堀は、歴史的にも価値のある用水であることから、昔からの雰囲気を残した親水空間を創出し、その活用によるコミュニティづくりに取り組んでいます。

【課題】

コミュニティ活動による地区の結束力は強いものの、自治会等の高齢化が進んでいることから、今後より一層地区のコミュニティを活性化していくため、世代を越えて交流できる仕組みづくりを進める必要があります。

また、国道4号やJR武蔵野線は、地区の分断要素となっており、JR武蔵野線を横断する道路の一部では排水不良の問題等もあります。地区のさらなる発展のためにも、JR武蔵野線の高架化やバスをはじめとする公共交通の充実など利便性の向上が望まれます。

さらに、地区には、良好な田園風景が残されておりますが、農家の高齢化や後継者不足等により、農地を活用・保全するための方策が課題となっています。

キーワード	魅 力	課 題
コミュニティ	◇ チューリップフェスタ等のコミュニティ活動が活発	◆ 自治会役員の高齢化 ◆ 国道4号や武蔵野線による地区の分断
自然・歴史	◇ 地区のシンボル出羽公園がある ◇ 河川が豊富	◆ 歴史・伝統文化を学ぶ場が少ない
生活利便性	◇ 出羽公園周辺に体育館や地区センターが集約されている	◆ 公共交通の利便性が不足している ◆ 国道4号や武蔵野線による地区の分断
安全・安心	◇ 地域での見守り活動が充実している	◆ 大雨時の排水が悪く、浸水する場所がある
田園・景観	◇ 国道4号西側に広がる田園風景 ◇ 緑の多い住宅地	◆ 農家の高齢化と後継者不足

(3) まちづくりの目標

目標 1	地域・世代間交流活動の推進によるコミュニティづくり
目標 2	出羽堀・新川・元荒川・綾瀬川の親水空間の創出や地区の歴史・文化を継承するまちづくり
目標 3	地域の交流と定住につながる生活利便性の高いまちづくり
目標 4	身近な交流の場や道路の整備による安全・安心なまちづくり
目標 5	田園の保全と住宅地内の緑化の推進による出羽地区の景観づくり

2 取組の体系

目標 1 地域・世代間交流活動の推進によるコミュニティづくり

重点的な取組 1 - 1 地域・世代間交流の推進

【方向性】

- ① チューリップフェスタなど年間を通じてイベントの充実を図る
- ② 子どもたちにとって魅力があるまちにする
- ③ 農地を活用したコミュニティづくりを推進する
- ④ ボランティアを活性化させる

重点的な取組 1 - 2 人々が憩う公園の維持管理と利活用

【方向性】

- ① 住民と行政とが協力して公園を管理し特色ある公園をつくる
- ② 子どもがのびのびと安心して遊べる公園をつくる

目標 2 出羽堀・新川・元荒川・綾瀬川の親水空間の創出や地区の歴史・文化を継承するまちづくり

重点的な取組 2 - 1 魅力的な水辺の創出

【方向性】

- ① 河川的环境向上を図り、より良い生態系を築く
- ② 出羽堀と新川において安全で親水性のある空間を創出する
- ③ 元荒川・綾瀬川の水辺環境と河川敷の有効活用を考える

重点的な取組 2 - 2 地域の伝統文化の継承

【方向性】

- ① 伝統文化を次世代に継承していく

目標3 地域の交流と定住につながる生活利便性の高いまちづくり

重点的な取組3-1 武蔵野線の周辺整備

【方向性】

- ① 武蔵野線の高架化と側道整備の検討を引き続き行う

重点的な取組3-2 公共交通の充実

【方向性】

- ① バス路線網等の充実を進める

目標4 身近な交流の場や道路の整備による安全・安心なまちづくり

重点的な取組4-1 道路環境の整備

【方向性】

- ① 安心して歩行と通行のできる道路整備を行い、アクセスを向上させる

重点的な取組4-2 誰もが安心して生活できる地域づくり

【方向性】

- ① 子どもたちと高齢者の交流やコミュニティを活発にしていく
- ② 地区住民が集まれる交流の場の活用を推進する

重点的な取組4-3 災害に強いまちづくり

【方向性】

- ① 都市型水害への対応を図る
- ② 災害時に誰もが安心して避難できる地域をつくる

目標5 田園の保全と住宅地内の緑化の推進による出羽地区の景観づくり

重点的な取組5-1 緑のあるまち並みづくり

【方向性】

- ① 貴重な田園を守る
- ② 農地の活用・保全を考える
- ③ 緑の多い住宅空間を考える

3 取組内容

目標 1 地域・世代間交流活動の推進によるコミュニティづくり

重点的な取組 1-1 地域・世代間交流の推進

チューリップフェスタをはじめ納涼大会や公民館祭りなど、年間を通じてイベントの充実を図り、地域・世代間の交流を推進するとともに、小・中学校等と連携するなど、子どもたちが参加でき、魅力を感じられるまちを目指します。

また、農地を活用した農業体験事業に引き続き取り組むとともに、地域の課題解決に取り組むボランティア団体が活躍できる環境づくりに努めます。

方向性	具体的な内容
① チューリップフェスタなど年間を通じてイベントの充実を図る	«地域でできること» ● 広報活動の充実 ● 新しい世代への周知・啓発活動（世代間の交流）
② 子どもたちにとって魅力があるまちにする	«地域でできること» ● 自主的な子どもイベントの実施 ● 小・中学校や PTA、子ども会との連携 «市への期待» ○ 子どもを対象にした活動への支援
③ 農地を活用したコミュニティづくりを推進する	«地域でできること» ● 農業体験の継続的な取組 «市への期待» ○ 市民農園の柔軟な貸出し ○ 農業従事者の意見把握・反映
④ ボランティアを活性化させる	«地域でできること» ● 継続的なボランティア活動の実施

重点的な取組 1-2 人々が憩う公園の維持管理と利活用

出羽公園は、地域のシンボリックな公園であり、自治会や利用団体による枝おろし作業等の維持管理活動が行われているほか、花いっぱい運動など地域におけるコミュニティの場として活用されています。出羽公園を維持し、さらなる利活用を図るためには、地域住民が参加できる仕組みづくりに取り組むとともに、子どもがのびのびと安心して利用できるような公園の維持管理が必要です。

方向性	具体的な内容
① 住民と行政とが協力して公園を管理し特色ある公園をつくる	«地域でできること» ● 魅力的な公園づくり（小規模公園の活用） ● 公園の定期的な管理（除草など） «市への期待» ○ 公園の定期的な管理（樹木など） ○ 遊具の更新・整備
② 子どもがのびのびと安心して遊べる公園をつくる	«地域でできること» ● 皆が利用しやすい公園の管理 ● 子どもがのびのびと遊べる公園づくり

目標 2 出羽堀・新川・元荒川・綾瀬川の親水空間の創出や地区の歴史・文化を継承するまちづくり

重点的な取組 2-1 魅力的な水辺の創出

出羽堀、新川、元荒川及び綾瀬川による親水空間は、古くからの雰囲気を残した魅力ある景観を形成しています。これらの親水空間を、より魅力的なものにするためには、水路及び道路整備による景観保全や、遊歩道整備による水辺の有効活用が必要です。

さらに、河川敷の環境整備については、引き続き、自治会やボランティア団体を中心に取り組んでいく必要があります。

方向性	具体的な内容
① 河川的环境向上を図り、より良い生態系を築く	«地域でできること» ● 住民にできる水質対策 «市への期待» ○ 行政における水質対策
② 出羽堀と新川において安全で親水性のある空間を創出する	«地域でできること» ● 水辺周辺の利用や管理の徹底 «市への期待» ○ 水辺空間の整備
③ 元荒川・綾瀬川の水辺環境と河川敷の有効活用を考える	«地域でできること» ● 地域住民主体の河川敷の環境整備 ● 水辺環境改善への協力 «市への期待» ○ 遊歩道等の河川敷の整備・有効活用の検討

重点的な取組 2-2 地域の伝統文化の継承

谷中の囃子や太鼓をはじめとする地域で受け継がれている伝統文化・芸能をコミュニティの場等で広く紹介し、次世代に伝えるよう取り組みます。また、小中学校等において、伝統文化の後継者を育てる場や取組を支援する必要があります。

方向性	具体的な内容
① 伝統文化を次世代に継承していく	«地域でできること» ● 地域の伝統文化・芸能の調査・研究による継承 ● 歴史散策の定期的な開催 «市への期待» ○ 小中学校における伝統文化継承の取組

目標 3 地域の交流と定住につながる生活利便性の高いまちづくり

重点的な取組 3-1 武蔵野線の周辺整備

武蔵野線の高架化及び周辺道路の整備について、その早期実現に向け、引き続き要望活動に取り組めます。

方向性	具体的な内容
① 武蔵野線の高架化と側道整備の検討を引き続き行う	«地域でできること» ● 武蔵野線の耐震のための高架化の要望 ● 長期的視点での新駅設置要望 «市への期待» ○ 地域要望への支援

重点的な取組 3-2 公共交通の充実

バス路線を中心としたさらなる公共交通の充実を求めるとともに、積極的に利用することで、既存のバス路線の維持に努めます。

方向性	具体的な内容
① バス路線網等の充実を進める	«地域でできること» ● 地域におけるバスの利用促進・地域でのPR ● 地域における公共交通のあり方の検討 «市への期待» ○ バス路線を維持するための支援 ○ 公共交通検討の支援

目標 4 身近な交流の場や道路の整備による安全・安心なまちづくり

重点的な取組 4-1 道路環境の整備

日常生活に欠かせない歩行者及び自転車利用者が、安全に利用できる道路整備が必要です。また、子どもたちが安心して通学できる道路環境づくりに努めます。

方向性	具体的な内容
① 安心して歩行と通行のできる道路整備を行い、アクセスを向上させる	«地域でできること» ● 危険箇所見守り等によるスクールゾーンの見直し «市への期待» ○ 安全な歩道と自転車道の整備（歩車分離） ○ 計画的な道路整備 ○ 道路規制等の見直し

重点的な取組 4-2 誰もが安心して生活できる地域づくり

高齢化が急速に進む中で、高齢者が地域活動に取り組み、住み慣れた地域で安心して生きがいのある生活を送ることができるようなコミュニティづくりに努めます。

さらに、地域住民の交流の場として、地区センター・公民館及び自治会館等を有効に活用するとともに、新しい交流の場の整備を検討する必要があります。

方向性	具体的な内容
① 子どもたちと高齢者の交流やコミュニティを活発にしていく	«地域でできること» ● 継続した高齢者のコミュニティづくり ● 子どもの見守り活動 «市への期待» ○ 地域包括支援センターとの連携強化
② 地区住民が集まれる交流の場の活用を推進する	«地域でできること» ● 既存施設における地区住民の交流の場の検討 ● ルールの見直しなど住民が使いやすい仕組みづくり «市への期待» ○ 交流の場の整備検討

重点的な取組 4-3 災害に強いまちづくり

近年の都市化及び地球環境の変化による集中豪雨等による浸水被害が区内でも多くなっており、自然災害への備えに対する地域住民の関心は、ますます高くなっています。

災害に強い地域を目指し、防災名簿の作成や避難所体験訓練等の地域での自主的な取組を進めるとともに、調整池の整備やポンプの管理等浸水対策が必要です。

方向性	具体的な内容
① 都市型水害への対応を図る	«市への期待» ○ 浸水対策の充実
② 災害時に誰もが安心して避難できる地域をつくる	«地域でできること» ● 災害時要援護者名簿の活用 ● 地域での避難ルールづくり

目標 5 田園の保全と住宅地内の緑化の推進による出羽地区の景観づくり

重点的な取組 5-1 緑のあるまち並みづくり

多くの人々が暮らし、そして、多くの人を訪れる本地区においては、住民や来訪者が身近に水や緑を感じることができる潤いのあるまちづくりに向けて、地域資源を活かした緑化の推進を図るとともに、魅力ある景観づくりに努めます。

方向性	具体的な内容
① 貴重な田園を守る	«地域でできること» ● 農作物の地産地消 «市への期待» ○ 遊水機能がある田園の保存方法の検討
② 農地の活用・保全を考える	«地域でできること» ● 農地の活用方法の検討 «市への期待» ○ 農地活用のための農業振興地域整備計画の見直し ○ 農地と住宅地の区画区分の検討
③ 緑の多い住宅空間を考える	«地域でできること» ● 住宅地における緑化促進 «市への期待» ○ 地域の取組への支援